

Q.ステイゴールドのスタートアップしか受講していないのですが大丈夫でしょうか？

A.理想的にはベテランコースのケーススタディや、新田君解剖セミナー（という名のケーススタディ）を受けていることが望ましいのですが、とりあえずスタートアップコースを受講していれば理解には問題ないと思います。ステイゴールドそのものを未受講、という場合はもしかすると用語や概念で「何それ？」と思う瞬間が出てくるかもしれません。致命的に理解できないことはないと思いますが、そういうのが気になる方はステイゴールドのビデオを見ておいてください。

<http://www.successlab.jp/sales/main/index/P4ik9TOL>

和佐君が作ってくれたこのページでビデオの購入が可能です。決済の管理が僕ではなく和佐君なので、決済確認後、配布済みのビデオについてはすぐに届きます（笑）。届かない場合は彼に問い合わせてください。

Q.人間セミナーとは何なのでしょう？

A.人間セミナーというのは、まあ簡単に言うと人間分析の方法のひとつを解説するセミナーです。「ビジネスとは人間を相手にするもの」「人間の最大の苦しみも喜びも、人間関係から生まれてくる」「人間としてどう生きるかを考えなければ真の幸せは訪れない」という僕が大学生の時から感じていたことを前提として、いかに人間を正しく理解していくのか、そのための大事な枠組みとして僕が提示しているものです。

その人の性格、向き不向き、人や仕事との相性、躓きがちな問題、今後ぶつかるであろう壁、その解決の仕方、などなどが不思議とすぐにわかるようになります。すぐに、とは、「その人を見た瞬間に」くらいすぐにです。僕が面談やコンサルで「部屋に入ってきた瞬間に大体のことがわかる」と言っているのは、このセミナーでお話しする知見があるから、とすることができます。そして何より、僕が自分が進むべき道を迷わず、決して致命的な失敗をしないのは、この知見のおかげ以外の何ものでもないと思っています。「自分を含めた人間を正しく理解する」ための、揺るぎない視点です。

このセオリーは、哲学や心理学、宗教学や神秘思想、歴史学や社会学、あるいは生化学や解剖学まで、僕が学んだあらゆることを総動員して体系化したものになります。セミナーではその結果だけをお話ししますので、とても「簡単」で「使いやすく」場合によっては「ライトな」体系と感じる方もいるかもしれませんが、おそらく僕がこれまでやってきたセミナーの中で、もっとも「全体的な」知見を動員して成り立っているものだと思っています。僕の他のセミナーにも増して、スルメセミナーだということです。人によっては「ん？これが何なの？」とその時は感じるかもしれませんが、人によっては一回受ければ一生楽しめるんじゃないかな。

ちょっとした理由があって内容を記録に残すことはできないのですが、是非実際に学びに来て、体験してみてください。

Q.ステイゴールドとの違いは具体的にどういう感じでしょうか？

A.一応新田君と音声を録っていますので、まずはそちらを聞いてみてほしいのですが、「具体的に」とはなかなか難しい質問です。「これからの時代に成功するビジネスモデル」の全体像はステイゴールドで詳細に解説しましたので、今年のセミナーでは「それを踏まえて実際に行動を起こす上で大切なこと」をお話ししたいと思っています。

そして、その「行動」の推進力になるものも逆にブロックになるものも、どちらも「人間という視点」だと僕は思っているのですが、その観点から、幾ばくかのお話をしたいと考えているのが今回のセミナーです。

守コースのセミナー2回は特にその「人間」という観点を「ビジネス」というフィルターを通して考えることができればなと思っています、破コースのセミナーや人間セミナーというのはそれをもっと原理的に理解する、という意味で一段次元の高い話になってきます（難しくなる、という意味ではありません。あくまでも理解の次元の話です）。

離コースのライティングも実はつながっていて、レポートにも書いた通りこれはライティングというよりはアウトプット全般を僕はイメージしています。ア

アウトプットが起こるからコミュニケーションが起こる、つまり人間関係が現れるわけで、つまり人間関係の質はそのアウトプットの質に左右されてくる、ということの意味しています。なので、それを高めていきましょう、と。

そういった観点から、全コースを貫くコンセプトは「人間理解」で、それを「ビジネス的な成功」のみならず広く「人間関係」など様々な次元、そして角度からお話ししていくのが今回のセミナーということになります。

Q.沖縄では何かやるのですか？

A.まずセミナーをやります。そして新田君が言っているようにグループ面談などをやるようです。その他は特に知りませんが、その場の空気感で何かをやるのかもしれませんが。詳しくは沖縄大臣2014の新田君に聞いてください。

Q.セミナーとは関係ないのですが、老人国家とはどういう状態ですか？

A.簡単に言うと、「今までと（ゴリゴリ成長していた若いころと）同じようなスタイルでは食べていけない国家」ということです。その原因として、僕が音声やセミナーで話しているように人口が減るとか、生産性が落ちるとか、イノベーションが起こりにくくなるとか、いろいろあるのですが、最も重要なのは、

- ・変化に適応しにくくなる
- ・国内需要が減っていく

ということかなと思っています。このインパクトはとても大きいものです。変化に適応できない怖さは、僕のメルマガや音声、セミナーで学んでくれているならば自明のことだと思いますのでここでは説明しませんが、国内需要がドンドンとなくなるというのは、国家としては大問題です。

というのも、日本は実は内需大国で、GDPの大体85%くらいは内需です。簡単に言うと、世間一般のイメージとは違って、輸出大国でもなければ貿易で稼いでいる国でもない、ということですね。例えば

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MZD6Z56JIJUT01.html>

なんかを見てみると、甘利さんは「揺らぐ」と穏やかな表現を使っていますが、実際には日本の貿易赤字は17ヶ月も連続しています。安倍さんが首相になるころには「円安になれば輸出が伸びて、モノづくり大国、貿易大国日本が復活する」と叫んでいた人たちがいましたが、3割という激しい円安になっても結局貿易収支は赤字です。

だから一部の保護主義的な陣営の人たちは「日本は内需の国なのだから外国との貿易なんて力入れなくていいんだ、内需主導で経済成長しろ」ということを主張しています。そういう意味では彼らの主張にも一理あるのですが、決定的に重要な「その頼りの国内需要が減少していく」ということが見落とされているのではないかと思うのです。

僕は「日本は内需の国だし、3割円安にしても赤字なのだから、今のままでは貿易で稼ぐのは絶望的」だと考えていますが、一方で「貿易は諦めろ」とか思っているわけでもありません。そうではなく、単に「若いころのイケイケドンドン貿易ではもう稼げない、老人は老人のやり方で稼ぐべき」と僕は思うのです。ここでパラダイムシフトして時代の流れに適応できれば問題ないと思いますが、老人は「変化に適応しにくい」生き物でもありますから、果たしてこれがどうなるか、というのが僕が心配していることなわけですね。

要するに。

現状だけを見れば、日本は内需大国。だけれどもこのまま少子高齢化が進んでいけば、お金を使う世代が減りますから内需は減り、生産年齢人口も減りますから生産性も落ちていきます。総務省の予測だと、人口が1億人を切るのが2048年、2060年くらいには8600万人くらいになり、この2060年はなんと2.5人に一人が65歳以上です。どっかで話したような気がしますが、これでは現行の社会保障制度も到底持ちません（というか社会保障については、大体今から10年後くらいがリミットだというのがお上の見解です）。

内需もダメ、外需もダメ、生産性も落ち、社会保障すらままならない。これが「何もしなかった場合の」日本の未来です。

「何もしなかった場合」にそうなるのであれば、何かすればよい。でも何かするのは国じゃないんです。レポートにも書いた通り、音声でも言っている通り、セミナーでも散々話している通り、国をあてにして何とかなる時代はもう終わってしまった。国自体が老人、つまり広く国民のことなど考える余裕がもうない時代に入ったからです。僕らはもう、自分の力で何とかしなければならない、というか、本来の、まっとうな生き方に戻らなくてはならないのです。

ちょっと、質問である老人国家の定義からは大きくそれた話になってしまいましたが、僕が老人国家という単語を使った背景を理解してほしかったので、あえて書かせていただきました。

ちゃんとデータを集めて、ちゃんとした思考を身につければ、未来は結構予測できます。自分の人生です。僕がお話しできる部分はできる限りお話ししていきますが、常に、各自でしっかりと考えて生きていくようにしてください。「あつ」と思ってからでは大体遅いのです。

Q.「メガトン急」ではなく「メガトン級」ではないですか？

A.そんな細かい **Typo** の発見、ありがとうございます。既にファイルは修正版に変わっておりますので、気になる方はダウンロードし直してくださいませ。

Q.申込期限、支払期限はいつまでですか？

A.申込期限は24日、支払期限は27日を予定しております。

Q.破コースの最後の1回のセミナーの開催日は2月下旬で確定でしょうか？

A.確定とさせていただいて構いません。

Q.セミナーは土日開催なのか平日開催なのか決まっていますでしょうか？

A.えーと、レポートに日程が書いてありますが、基本的には同じセミナーを「土日」と「平日」の両方でやる予定です。なので、「どちらも開催」になります。ご都合の良い方でご参加ください。

Q.人間セミナーの開催日は決まっていますか？

A.現段階で新田君と話して決まっているのは

3月：15日～17日（沖縄）

4月：21日～23日（沖縄）

という沖縄開催の日程だけですが、5月と6月で僕が勝手に日程を決めましたので、それも合わせて連絡します。

5月：17日～19日（東京）

6月：2日～4日（東京）

の2セットです。どちらの会場も、土日を入れているグループと、平日グループ、どちらも開催する日程になっていますので、ご都合の良い方でご参加ください。3日あるのでどうしても土日グループにも1日だけ平日が混ざってしまいますが、そこはご了承くださいませ。

ちなみに、このセミナーは50人以下で行いたいため、現在さらに日程を増設しようかと新田君と検討しています。特に東京会場は別にいつでも開催できるので急がなくてもいいのですが、沖縄会場はこれより後になるとシーズンになってしまい何かと不便なので、3月と4月であと1セットずつ増設したいと思っています。もし増設が決まりましたら、また続報をご連絡いたします。

Q.ビデオ受講で申し込んでいますが、人間セミナーに参加の見通しが立った時点で、ライブ受講に切り替えということが可能かどうか？

A.絶対に対応可能とは断言できませんが、できる限りの対応はしたいと思っています。またその場合、「アフィリエイト経由」の場合は和佐君に、僕から直接申し込まれている場合は僕の方に連絡してください。

Q.新田さんが追加した「勉強会」なる特典について（以下略）。

A.新田君が新しい特典を付けたようなので、それについて僕の方からもコメントを。

まず、破コースの特典として、「沖縄合宿のセミナー最終日か翌日くらいにグループ面談か何かを行う」というのがあると思います。そして離コースの特典として「木坂ミュージアムでの勉強会」みたいなものがあると思います。

これらは僕も参加することになっていると思うのですが、そういう「木坂が関わる特典」については、新田君からの受講者だけでなく、僕の方から直接申し込んでくれた方にも適用されるものです。つまり、これらについては僕から申し込んでも新田君から申し込んでもどちらでも受け取る権利がある、ということです。新田君「のみ」が関わる特典については新田君経由でお申込みいただいた方限定での配布になります。

また、もしその他のアフィリエイトの方から「木坂が関わる特典」のオファーがあった場合も同じ扱いとさせていただきます。

Q.三ヶ月間本気でやれば今全然書けないレベルの私でも変わりますか。

A.離コースのライティングサポートについての質問だと思いますが、それは「本気でやれば」を文字通り受け取っていいのであれば、変わるでしょう。僕は、ライティングは昔から「スポーツと同じ」だと思っています。どんなにセンスと才能があるやつでも努力をしなければ一定以上は伸びないし、あまりセンス

も才能もないやつでも努力次第である程度の所まではいけるのです。

大事なのは、どういう努力をするか、なのかなど。僕のライティングセミナー2014を受講した方は分かってもらえたと思いますが、僕でさえ、例えば35ページのレポートを、きーっと書いているわけではないのです。残念なことに、思いついたまま書いたらああいうものができる、というわけではありません。

何週間も唸りながら、和佐君や新田君というヤクザの脅しにも負けずに時間をきちんとかけて、やっとあのくらいものになるのですから、皆さんが1日2日で書いた文章が目も当てられないものであるのは当然のことだと思います。ましてや「一気に書き散らした」文章は最低です。

セミナーでも言いましたが、僕はそもそも文章が下手すぎて、学校の先生に親が呼び出されるような人間でした。「この子の作文は、同年代の子供たちと比べて格段に劣るから、今から真剣に訓練しないと将来大変なことになる」と言われていたそうです。それにビビった親は僕にシートン動物記を与えたり、夏休みにそれを“写経”しろと言ってきたり、天声人語を毎日写せと言ってきたり、それはもう人並み外れて文章が書けない息子のためにあれこれ策を練ったようでした。もちろん、そのすべてが三日坊主で、功を奏しませんでした。

でも、そんな僕でも、大学受験の頃には小論文では全国1位を譲らないくらいになり、某有名私立大学に通っていた友人の卒論を代わりに4時間で書き上げてAの評価をもらえるようになり、予備校で教えれば驚異の合格実績とまで言われ、セールスレターを書かせれば日本一と言われるようになり、今ではこうして文章を教えることができるようになっていました。

このくらいなら、努力でなれるのです。

僕らは、ノーベル文学賞狙いじゃないでしょう。だったら、努力でなれるのです。その人に合った正しい努力、正しいアドバイス、こういうものがあれば誰でもできるようになると思っています。

もちろん、道は楽ではありません。「本気でやれば」が試されるとは思います。ただ、僕が、親が先生に呼び出された小学生のころから20年かかってやっとこのくらいは書けるようになった、そこまでの大変さはないとも思うのです。

レポートにも書きましたが、僕には指導者がいなかった。何が正しくて、何が正しくないか、何が自分に合っていて、何が自分に合っていないか、どういう努力が必要なのか、自分には何が欠けているのか、そういうものを客観的にアドバイスしてくれる人がいなかった。だから、1から10まですべて自分で考え、試行錯誤しながら進むしかなかったわけです。この大変さに比べれば、きっと、何でもないと思います。

最後は「変わるか変わらないかはあなた次第」としか言えませんが、「本気でやる」のが本当なら、変わらないはずがない、というのが僕の考えです。

Q.受講コースを変更したいのですが可能でしょうか？

A.可能です。まず、アフィリエイト経由で申し込まれた場合は、和佐君に変更したい旨を連絡してください。僕の方から申し込まれた場合、僕の方に直接ご連絡ください。

Q.カードで支払えないのですがどうしてでしょうか？

A.カードは、ペイパルというシステムを使って支払うことになります。このペイパルですが、おそらく元々のヘビーユーザーの方でないと10万円以上が一気に支払えない仕組みになっていまして、それを可能にするためにはしかるべき手続きをする必要があるようです。

その辺のことは和佐君に直接問い合わせてください。ただ、その手続きに数週間かかるようなので、お支払期限を1月27日にしています関係で今からだと間に合わないと思います。その場合、もし可能ならば銀行振り込みへの変更をしていただければ、期日には間に合うかなと。それも難しいようならば、申し訳ないのですが今回は諦めていただくということでご理解くださいませ。

ちなみに銀行振り込みへの変更は、もう何度目の話かわからないくらいの繰り返しになってしまっていますが、誰かのアフィリエイト経由でお申し込みの場合は

和佐君に、僕の方から直接お申し込みの場合は僕の方に、それぞれご連絡いただければと思います。